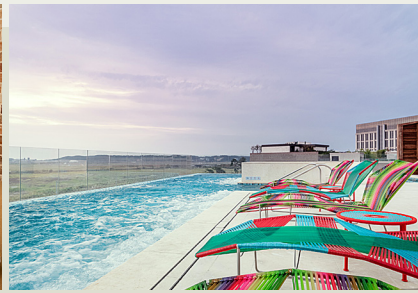
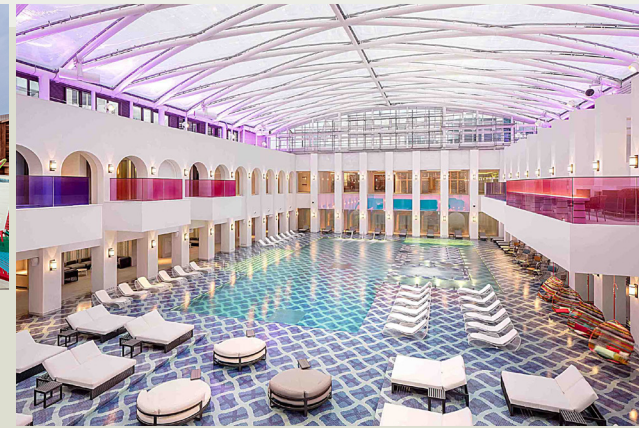




肌の再生や老化防止に効果があるとされるチムジルサバゾーンの塩サウナ。



屋外プールでは、爽やかな昼とロマンチックな夜の景色が楽しめる。



大型スパ「シメール」のアクアスパゾーン、メインプールの「ウォータープラザ」。



施設内は、現代アートが点在。草間弥生作《Great Gigantic Pumpkin》(右)やアレックス・メンディーニ作《Paradise Proust》(左)など、世界中から集めた約3,000点が随所に展示されている。



デラックスプールヴィラ(左)の床面積は457m<sup>2</sup>とまさにラグジュアリーな空間。プレミアデラックスツイン(右)は洗練されたインテリアが際立つ。

## PARADISE CITY

### 統合型リゾート「パラダイスシティ」で、極上の休日。

最近話題の「統合型リゾート (IR)」とは、どんなところなのか。  
その答えは、日本からわずかな渡航時間で行ける、韓国・仁川にある。  
「パラダイスシティ」でバカンスの極意を学ぶ。

「パラダイスシティ」は、日本のセガサミーグループと韓国のパラダイスグループが共同出資する「パラダイスセガサミー」社が運営する、韓国初の統合型リゾート (IR) 施設だ。約5年の歳月を掛け、2017年4月20日にオープンした。

仁川国際空港に隣接しており、仁川国際空港第一ターミナルからは車で約3分、ソウルからも公共交通機関を利用して約40分。日本の主要都市から同空港までは約2時間半以内のフライトだから、あつという間だ。日本人スタッフも多数在籍し、「日本人にもっとも優しいIR」でもある。

#### 極上のホカンスを楽しむ。

「ホカンス」とは、「ホテル」と「バカンス」を組み合わせた韓国発祥の造語で、ホテル内でバカンス気分を味わう滞在スタイルのこと。パラダイスシティも極上の「ホカンス」を楽しめる場所として韓国内で人気が高まり、多くの韓国人が訪れている。

全711室の5つ星ホテルは、「フォーブス・トラベルガイド」のホテル部門でも4つ星を獲得している。バリエーション豊富な客室は品格・品質いずれも充実。中でも、別館の専用プール付「デラックスプールヴィラ」は、至高のリラクゼーションが得られる特別な空間だ。そのラグジュアリーさから、しばしば映画やテレビドラマのロケ地にもなっている。

様々な施設が備わっているが、注目は「ホカンス」の必須アクティビティであるスパ。4階建て、大型スパ「シメール」の2階には、韓国固有のチムジル文化や様々な健康プログラムで心身の疲れを癒すチムジルサバゾーンがあり、ぜひ利用したい施設だ。





美食を誇るファインダイニングも「ホカンス」の要。左上  
下2点はビュッフェレストラン「オン・ザ・プレート」、上段  
右2点はイタリア料理「ラ・スカラ」店内と料理たち。



幻想的な屋内型遊園地「ワンダーボックス」は、10種のアトラクションと9種のカーニバルゲームなどで来館者を迎える。



「パラダイスシティカジノ」は韓国最大級。170台を超えるテーブルゲームに、300台近くのスロットマシンを設置している。



PARADISE CITY

心躍るアクティビティも。  
「ホカンス」には美味しい食事も大切だ。ファインダイニングには、和・洋・中・韓と最新トレンドを反映したプレミアムビュッフェレストランがある。いずれも厳選食材を使った美食を堪能でき、滞在をいっそう有意義にしてくれる。また、リーズナブルなカジュアルダイニングのライオンナップも選ぶのに迷うほどだ。  
そして、休息の時間を過ごしつつ、静から動へ、心躍るアクティビティを望む瞬間も訪れるもの。子どもと一緒に屋内型遊園地「ワンダーボックス」へ。幻想的な「夜の遊園地」でアトラクションやパレードショーを満喫できる。大人だけでなく、外国人専用カジノで優雅にエキサイティングな時間を嗜むのもいい。「パラダイスシティカジノ」には日本人や日本語が堪能なスタッフも常駐し、初心者も安心して楽しめる。  
ぜひ、非日常の空間が広がる「パラダイスシティ」で、日本では味わうことのできない本場の極上「ホカンス」体験を。



## パラダイスシティでぜひ「ホカンス」を！

日本からも、仁川国際空港に到着してからも圧倒的な近さを誇るIP「パラダイスシティ」。首都ソウルからも近距離のため、滞在中にソウル観光も可能です。「ホカンス」を楽しんでいただける様々な宿泊プランをご用意して、みなさまのご来館をお待ちしています。

「パラダイスシティ」について詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

<https://www.p-city.com>